

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和6年9月12日(2024.9.12)

【国際公開番号】WO2022/130808

【出願番号】特願2022-569758(P2022-569758)

【国際特許分類】

C 0 8 F 2 9 0 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

G 0 2 B 6 / 4 4 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 3 C 2 5 / 1 0 6 5 (2 0 1 8 . 0 1)

C 0 3 C 2 5 / 6 2 2 6 (2 0 1 8 . 0 1)

C 0 3 C 2 5 / 1 2 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 3 C 2 5 / 4 7 (2 0 1 8 . 0 1)

C 0 3 C 2 5 / 4 8 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 3 C 2 5 / 2 8 5 (2 0 1 8 . 0 1)

C 0 3 C 2 5 / 2 5 (2 0 1 8 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 8 F 2 9 0 / 0 6

G 0 2 B 6 / 4 4 3 3 1

G 0 2 B 6 / 4 4 3 0 1 A

G 0 2 B 6 / 4 4 3 0 1 B

C 0 3 C 2 5 / 1 0 6 5

C 0 3 C 2 5 / 6 2 2 6

C 0 3 C 2 5 / 1 2

C 0 3 C 2 5 / 4 7

C 0 3 C 2 5 / 4 8

C 0 3 C 2 5 / 2 8 5

C 0 3 C 2 5 / 2 5

20

【手続補正書】

30

【提出日】令和6年9月4日(2024.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光重合性化合物と、光重合開始剤と、紫外線硬化性の官能基を有する表面修飾無機酸化物粒子と、を含有する樹脂組成物を含み、

40

前記表面修飾無機酸化物粒子を構成する有機成分における化学吸着成分の含有量が、前記有機成分の総量を基準として70質量%より大きい、光ファイバのセカンダリ被覆材料。

【請求項2】

前記官能基が、アクリロイル基、メタクリロイル基及びビニル基からなる群より選ばれた少なくとも1種の基である、請求項1に記載のセカンダリ被覆材料。

【請求項3】

前記表面修飾無機酸化物粒子の平均一次粒径が、100nm以下である、請求項1又は請求項2に記載のセカンダリ被覆材料。

【請求項4】

50

前記表面修飾無機酸化物粒子の含有量が、前記樹脂組成物の総量を基準として1質量%以上60質量%以下である、請求項1から請求項3のいずれか一項に記載のセカンダリ被覆材料。

【請求項5】

コア及びクラッドを含むガラスファイバと、
前記ガラスファイバに接して前記ガラスファイバを被覆するプライマリ樹脂層と、
前記プライマリ樹脂層を被覆するセカンダリ樹脂層と、を備え、
前記セカンダリ樹脂層が、請求項1から請求項4のいずれか一項に記載のセカンダリ被覆材料の硬化物を含む、光ファイバ。

【請求項6】

コア及びクラッドから構成されるガラスファイバの外周に、請求項1から請求項4のいずれか一項に記載のセカンダリ被覆材料を塗布する塗布工程と、
前記塗布工程の後に紫外線を照射することにより前記セカンダリ被覆材料を硬化させる硬化工程と、を備える、光ファイバの製造方法。

10

20

30

40

50